

# 白石中学校



Thanks Mail

## やきとり元太 様

先日はお忙しい中、私たちの職場体験のため大切なお時間をさいて、協力して頂き、ありがとうございました。私は、緊張から、うまくお客様に接することが出来ず、ご迷惑をおかけしてしまったと反省しています。そんな緊張から解放され、食べた昼食は格別でした。この職場体験でたくさんのことを学び、成長出来たと思います。冬が近づきますが皆様お体に気をつけて、お元気で過ごして下さい。

2年 K・S

やきとり元太



## 一つひとつの料理に込められた 手間と工夫と真心を知る

白石中学校のグラウンドの目の前にある「やきとり元太」。今回お世話になったのは野球部でバッテリーを組む2年生の男子生徒2人です。まずは開店前にランチの下ごしらえを行います。キャベツの千切りは細すぎず太すぎず、漬け物は見栄え良く斜め切りに。これが簡単そうでなかなか難しいのです。「家でも洗い物など台所の手伝いを時々している」という2人ですが、とりわけ苦戦したのが焼鳥の串打ち。既定の分量になるようにすばやく串を打っていく大将の職人技に、経験と工夫を積み重ねる大切さを実感したようです。

ランチタイムになって続々とお客様が来店。「いらっしゃいませ」「ありがとうございます」と野球で培った大きな声に「元気が良いね」とお誉めの言葉を頂戴する一方、食べやすい料理の置き方を工夫したり、催促される前にお茶のお代わりを用意するなどの気配りについても指導を受け、接客の奥深

さを味わった2人でした。

お店が空いたところで、いよいよ自分で打った串を焼いていきます。「炭火が熱い」「煙が目にしみる」と言いながら串を返していくと、香ばしい香りが立ちこめてきました。立ち通しで働いたあとに食べる焼鳥のおいしさは格別！自家製マヨネーズのレシピも伝授してもらい、添加物なしのおいしさにも目を見張りました。一つひとつの料理に込められた経験と工夫と真心を知った2人。これからは食べるたびに感謝の気持ちが湧いてきそうです。



横山食品(株)



## おいしさと安全を追求する 食品開発の奥深さを学んだ1日

「横山食品」は昭和42年創業。業務用および家庭用パン粉や製麺用かんすいなどの製造・販売を行っています。今回訪れたのは2年生の女子生徒2人。衛生服や帽子を着け、まずはパン粉の製造工程を見学しました。パン粉として使っておいしく仕上がるように材料を配合したパン生地を焼き上げ、一晩寝かせて粉碎するとパン粉が出来上がります。2人もパン生地を作る工程を実際に体験。小麦粉や水を機械でこねたり、暑い発酵室で休ませたり、「食パンがこんなに手間と時間がかかって作られているとは」と驚きの声が上がりました。焼き上がったパンはもちろんおいしく試食させていただきました。

横山食品の開発室では、衣の食感や揚げ色、油の吸収率などさまざまなテストを繰り返し、より良いパン粉の開発に努めています。理科の実験のように精密な作業を見た2人は「何気なく食べているフ

ライにも高度な知識や技術が詰まっているんですね」「作業のたび手を消毒するなど、衛生管理もすごい」と、安全とおいしさを追求する食品開発の奥深さに感心しきりでした。

さらに2人は、自分で粉碎したパン粉を使ったエビフライ作りにも挑戦。エビをまっすぐ仕上げるコツやサクサク衣の秘密を教えていただき、揚げたてのエビフライに舌鼓を打ちながら「家でもやってみよう」と調理にも興味が湧いた様子でした。



北開工営(株)



## 設計が社会に果たす 役割の大きさを実感

道路やトンネル、上下水道などの社会インフラをはじめ、建築設備や情報通信ネットワークなどの計画を含めた建設コンサルティングを行っている「北開工営」。今回は2年生の男子1人、女子2人が訪れました。

まずは好きなデザインで各自名刺を作成し、社員のみなさんと名刺交換。ちょっぴり緊張しつつ、お一人おひとりが手がける業務についてお話を伺いました。「道路の崩落を防ぐ設計や空港の照明管理など、いろいろな仕事があるんですね。現場写真のデータ管理など、設計をサポートする仕事も面白そう」と語る女子生徒をはじめ、みんな興味津々です。

名刺交換のあとは図面設計に挑戦。CADという設計ソフトを使って線を引き、樹木や遊具のアイコンをレイアウトして、架空の公園を設計していきます。最初は勝手がわからず戸惑っていた3人ですが、慣れるにつれて「線の消し方は?」「コピーの仕

方は?」など、活発な質問が出始めました。さらにコストも計算し、ひとつの公園を作るために多額の費用がかかることを実感。建築士を夢みる男子生徒は「難しいけれど責任もやりがいも大きい仕事だと思いました」と建設の社会的意義を感じ取った様子です。父親が大工という女子生徒も「ひとつの建築物を作る上でたくさんの過程があることを知り、もっと父と話してみたいなりました」と、父親の職業への関心が深まったようでした。

